

# 特集「PM2.5」を企画して

特集担当編集委員 加納 純也、森田 章友

PM2.5とは大気中に浮遊している2.5 $\mu\text{m}$ 以下の粒子状物質のことを指す。日本においては、インターネットで検索すると日々の観測データや予測値が簡単に入手できるなど、日常の関心事にまでなっている。これは、健康への影響が懸念されていることが理由の一つであろう。この原因物質は日本国内だけでなく、中国から飛来したのも多く含まれるといわれており、このことは一カ国で対応すべき範疇を超え、国際的に取り組むべき問題であることを示している。

インターネットや報道では多くの情報にあふれているが、広範囲の情報がまとまっているものは意外と少ない。そこで、本特集では、日本の取り組みと海外との連携事例、健康への影響やPM2.5対策品など、多方面からみたPM2.5の現状をまとめて紹介したい。

環境省 大気環境課の船越吾朗氏に「PM2.5の最新の状況と国のPM2.5対策について」と題し、日本における実状としてPM2.5観測の整備状況と環境基準の達成状況、そして国のPM2.5に対する基本的な方針に加え、短期・中長期の対策における取り組み状況について俯瞰的に紹介いただいた。

日本の地方自治体の取り組みとして「中国のPM2.5問題に対する北九州市の取り組みについて～中国大気環境改善に係る都市間連携協力事業～」と題し、北九州市の内藤英夫氏に長年にわたって国際環境協力を行ってきた北九州市がPM2.5対策として中国と取り組んでいる内容について紹介いただいた。

日本の越境大気汚染を考える際には中国と韓国の状況を知ることが必要になる。そこで、埼玉県環境科学国際センターの米持真一氏、上海大学の呂森林氏、済州大学の李起浩氏に「日中韓PM2.5同時観測の概要と中国・韓国の現状」と題して、三国で同時に観測したPM2.5の測定データおよび中国、韓国各々の状況とPM2.5対策について説明いただいた。

兵庫医科大学の島正之氏には「PM2.5の健康への影響」と題して、疫学研究に基づいた健康との関連を海外および日本の調査結果をもとに短期・長期ばく露それぞれについて説明いただいた。

最後に「屋外および屋内でのPM2.5対策について」と題して、フマキラー(株)の佐藤隆氏から、市場にあるさまざまなPM2.5対策品について、その特徴やメリット、デメリットを総論的に紹介いただいた。

先に述べたようにPM2.5の情報はインターネット上をはじめ、さまざまなところに多く存在している。中には、いたずらに不安を煽るような文章も認められる。日本と中国・韓国の実状や健康影響への考え方、対策などを知っていただき、正しく向き合うきっかけの一助となればと考えている。